



新規事業開発室  
国際事業課  
杉崎 遼 課長  
バレッグス  
(東京都目黒区)

バレッグスへ入社したのは2022年12月。カナダの短期大學を卒業後、現地で家電量販店や薬局、訪問介護などに従事。その後、日本に帰国し転職した。杉崎課長は「カナダでは永住権を取得しましたが、自分が外国人で住んでいたのが地方といふこともあり、とにかく雇つてもうまるところで働くような状況。暮らしも楽ではありませんでした。そこで、少し日本でも働いてみようと思いつい、帰国したのが入社のきっかけで不動産業を選んだのは父の影響だという。父が入社後は、現在所属する新規事業開発室国際事業課の前身となる国際チームに配属。外国人向けの賃貸仲介営業として働き始めた。その後、23年には宅地建物取引士(宅建士)を取得。

バレッグスへ入社したのは2022年12月。カナダの短期大學を卒業後、現地で家電量販店や薬局、訪問介護などに従事。その後、日本に帰国し転職した。杉崎課長は「カナダでは永住権を取得しましたが、自分が外国人で住んでいたのが地方といふこともあり、とにかく雇つてもうまるところで働くような状況。暮らしも楽ではありませんでした。そこで、少し日本でも働いてみようと思いつい、帰国したのが入社のきっかけで不動産業を選んだのは父の影響だという。父が入社後は、現在所属する新規事業開発室国際事業課の前身となる国際チームに配属。外国人向けの賃貸仲介営業として働き始めた。その後、23年には宅地建物取引士(宅建士)を取得。

杉崎課長はカナダでの就労経験を生かしつつ、賃貸仲介で成績を上げてきた。

バレッグスへ入社したのは2022年12月。カナダの短期大學を卒業後、現地で家電量販店や薬局、訪問介護などに従事。その後、日本に帰国し転職した。

バレッグス(東京都目黒区)の杉崎遼課長は、同社の外国人向け賃貸仲介事業の中核を担う人物だ。プレーヤーだけなく、管理職としてチームの基盤づくりに力を入れる。



年間約50000件の賃貸仲介を行う

24年9月期の個人成績では、仲介手数料の年間目標1440万円に対して1336万円を達成。これが評価されて、24年10月に発足した国際事業課の主任に昇進した。翌25年4月には課長に就任。社内でも異例のスピード出世だったという。

提坂直也執行役員は「当社は、各社員が自分で事業を興せるビジネスオーナーになれるという経営理念があります。杉崎課長は事業ベースで物事を考えることができ、その姿勢が周りに良い影響を与えていたので課長に任

命しました」と杉崎課長を評価する。

杉崎課長がこれまで接客した外国人の国籍は100カ国を超える。実績を積み上げてきた背景には英語能力の高さもあるが、カナダでの就労経験も大きいという。現地では外国人といふこともあり仕事を選べず、時にはシャワーもトイレもない感じている。

「別部署の管理職からは、秩序が保たれていて、主体的に動ける組織づくりが大事だと聞きました。指示がないと部下が1人で動けないようではいけない。新規事業に挑戦するために秩序がありつつ、個々人で動ける組織をつくり上げたい」と杉崎課長は意気込む。

## 賃貸仲介営業、達成率136% カナダでの極貧生活、経験糧に

「別部署の管理職からは、秩序が保たれていて、主体的に動ける組織づくりが大事だと聞きました。指示がないと部下が1人で動けないようではいけない。新規事業に挑戦するために秩序がありつつ、個々人で動ける組織をつくり上げたい」と



◀ 反響対応を行う杉崎課長